

本日の流れ

- ▶ 1.夜明け前
- ▶ 2.図書館員の力
- ▶ 3.数字の話
- ▶ 4.野性の図書館員
- ▶ 5.時代を読み取る
- ▶ 6.変革の時代を生きる
- ▶ 7.気くばりから心くばりへ
- ▶ 8.分かって欲しいこと

1.夜明け前
(1)新図書館建設を契機に
和泉新図書館建設の組織的フレームワーク

1.新図書館建設委員会(2008年4月1日)

- ・教員(担当常勤理事 2名 図書館長 1名 教員 11名)
- ・職員(管理職)6名 * 事務局:和泉図書館事務室、施設課

2.新図書館建設委員会の下に3専門部会を設置

- (1)基本コンセプト専門部会
- (2) **図書館専門部会⇒図書館員の力**
- (3)施設設備専門部会

1.夜明け前
(2)体制を整える

1. 図書館内でWG発足

図書館員の力
@図書館職員がほぼ全員WGに関わる。

- (1)代替施設運用・蔵書計画WG
- (2)利用サービスWG
- (3)情報関連WG
- (4)備品・サイン計画WG

2. 建築定例会議及び、その下にある技術部門の分科会で審議⇒図書館専門部会⇒施設設備専門部会⇒大学建設委員会⇒理事会

3. **2012年5月1日開館**

2. 図書館員の力
ニーズを考える力

1.ニーズを取り込む

- ・図書館への意見箱、ヒヤリング
「飲食、空調、照明、騒音、態度」

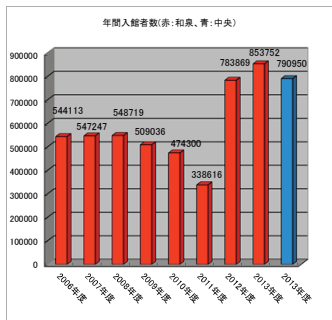
2.ニーズを生み出す。

- ・「基本コンセプトの具体化に向けた提案集 / 基本コンセプト専門部会」
- * 例)「明治大学を感じさせる外観」「開放的」「多機能」「多様性」「シンプル」「活性化」・・・
いままでにはない「何か」

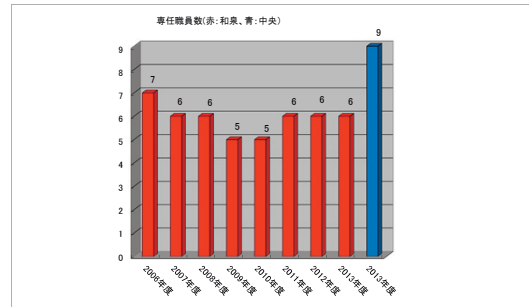
3. 数字の話
(1)1日平均入館者数

年	1日平均入館者数
2009	1800
2010	1900
2011	1300
2012	2600
2013	2500

3. 数字の話
(2) 分館が本館を超える



3. 数字の話
(3) 図書館職員数



3. 数字の話
(4) 数字ではない

1. 肝心な点は、数字ではない。
2. 肝心な点は、数字に惑わされない。
3. 肝心な点は、内容である。

@数字は必ず頭打ちになる。

4. 野性の図書館員
(1) 世間を知る

1. いま何が起きているか？(支援)
 - ・学習すること
 - ・教育すること
 - ・交流すること
 - ・活動すること
2. 他の図書館の状況は？
 - ・館種を問わず国内を中心に見て回る。(予定経費に計上)
 - ・海外の図書館見学(外部資金の活用: 明大図書館 H.19 文科省特色GP採択を財源)

4. 野性の図書館員
(2) 教・職連携

～東京藝術大学附属図書館の取り組み～
「蓄音機によるSPLレコードコンサート」

1. 大量の寄贈SPLレコードを学生・一般人に聴いていただくイベントである。
2. レコード枚数: 20,000枚 * 整理済みはわずか。
3. 整理、公開、イベント費用: 外部資金の獲得。

※助成: 公益財団法人ロームミュージックファンデーション

* 蓄音機を館長室から図書館員が運び出して音楽学部構内ホールで演奏する。曲をかけるのは職員で解説は教員ある。年4回。毎回職員は筋肉痛になる。

4. 野性の図書館員
(3) 教育の場としての図書館

～武庫川女子大学附属図書館～
「司書課程の全科目を図書館で行う」

1. グローバル・スタジオ(2階)・・・実習用
 - * 普段は自由な交流スペースで研修会やイベントにも使用する。
2. アクティブ・ラーニング・スタジオ(6階)・・・講義用
 - * 普段はグループで学び合うスペース
3. 専任教員3名+兼任(非常勤)教員8名(うち1名は図書館職員)
 - さらに演習指導は委託職員を含む図書館員全員体制

4.野性の図書館員
(4)連携から一体化へ

～長野県塩尻市立図書館の取り組み～

「複合施設えんぱーくでの壁を利用した壁のないサービス」

- 1.市民生活に役に立つ図書館
- 2.役所的縦割り仕事の廃止
- 3.すべての職員が情報を常に共有

4.図書館職員は「仕事を楽しむ」
*やらされ感よ、さようなら！

5.時代を読み取る
(1)明治大学の人事評価制度と図書館員

- 1.職員ひとり一人の成長を促す。
- 2.処遇の決定根拠を納得性のあるものとし、職員ひとり一人の動機づけ/活性化を行う。

- 3.学習支援/教育支援活動を通じて、図書館職員としての誇りを育成する。

5.時代を読み取る
(2)蝸壺型ではなく協働型

* 明治大学和泉図書館概要
総床面積8,856㎡4階建て、蔵書数32万冊(全面開架)
(収容可能冊数60万冊)サービス対象学生数:1万人
+社会連携

- 1.担当業務(縦割り)
事務長1、庶務・雑誌1、庶務補助(短期嘱託)1、蔵書1、
レファレンス・発注(研究用)1、発注(学習用)1、閲覧(貸出)・
マルチメディア1 計7名
* 開館業務全般→業務委託 昼8:夜7
- 2.協働業務(横割り)
レファレンス、ガイダンス、リテラシー教育、
レポートの書き方支援、学部間共通講座「図書館活用法」、
ギャラリー展示、各種イベント

5.時代を読み取る
(3)強みをだす
～教育の場としての図書館の積極的活用～
(H19年度文科省特色GP採択)

- A.学部間共通総合講座「図書館活用法」(*)
学部横断選択科目 半期2単位
全キャンパスで展開
- B.図書館活用教育(*)
・ゼミナール、基礎演習、教養演習、
法律情報リテラシーなどの図書館使った授業
- C.出前講義(教室内)
- D.各種講習会(テーマ別)
- E.オリエンテーション(入学時)

5. 時代を読み取る
(4)図書館員は教育職の一種である。
《プロフェッサーではないが、インストラクターでありエデュケーターである。》――
H25 第33回日本大学図書館業務研修会報告書 講演I P.19 野末

和泉図書館「レポートの書き方」職員/院生別支援実績 (年度別件数)			
	2012	2013	2014(春学期)
サーチ・アシスト(1F) 専任職員	27(後期)	83	45
レポートの書き方 ナビ・ステーション(2F) 院生	83	70	42

6.変革の時代を生きる
(1)大学図書館の3つの変化

- 1.「デジタル・ジレンマ」の時代…
デジタルコンテンツの出現により、図書館ではなく出版社が資源利用の条件を決定する時代。自由な情報流通へのアクセスを促進するはずだったデジタル化が逆にアクセスを阻害する状況 例)電子ジャーナル
- 2.「図書館職員の事務系ジレンマ」の時代…
資料の組織化などの技術的あるいは事務的な事務職から教育職への変化。学習/教育支援の場としての図書館職員の立場の変化。情報リテラシー教育の現場を担う図書館職員。インストラクターでありエデュケーターであり、授業を司る指導者であり、先生である。情報リテラシー教育の講師。例)明治大学学部間共通総合講座「図書館活用法」および初年次情報リテラシー教育の講師。
- 3.「アイデア・ストアー」の時代…
図書館に対する社会的ニーズの変化。生涯学習の場。卒業生や地域住民の利用…民間の店舗(カフェ)と建物をシェア。

7. 気くばりから心くばりへ
(1) 気くばり

1. 電車の中では読めない本に出会った・・・

- ①「加賀屋の流儀：極上のおもてなしとは/細井 勝 --- PHP, 2006」
- ②「加賀屋のころ：人間大事の経営とは/細井 勝 --- PHP, 2010」

2. 常識が不幸にすることを知ったとき・・・

「日本一社員がしあわせな会社のヘンなきまり/山田 昭男--- ぱる出版, 2011」

7. 気くばりから心くばりへ
(2) 心くばり



心くばり(ホスピタリティ)

- ①Active(動)
 - ・「見える化」 活動を受発信(*見て欲しい)
- ②Quiet(静)
 - ・「微かな音=静寂さ」 パソコン可
- ③Silent(黙)
 - ・「極上の静けさ」パソコン不可(*タブレット端末可)
- ④Sign(印)
 - ・「デジタルサイネージ」(*緊急情報)
 - ・「スタンドサイン」(*ポジティブ表現)
- ⑤Face(顔)
 - ・「表情の豊かさ」

8. 分かって欲しいこと

(1) 業務として図書館員マインドを生み出す場

・キーワードは「足し算」と「引き算」

「足し算」は日常的な「課内ミーティング」や休憩室で行う

- * 図書館活用ガイダンス
- 情報リテラシー教育の改善
- プレゼン・ライティング支援
- 各種イベント企画
- 雑談、笑いなどでアイデアの放出

「引き算」は定期的な「職場研修」で行う

- * 今まさにこの研修会
- * 図書館の哲学・理念・ミッション・運営
- 情報リテラシー教育の検証、
- 他機関における運営の実践検証

8. 分かって欲しいこと
(2) 学んで図書館員マインドを生み出す場

1. 「個」を磨き、強くする。
 - ① 社会人大学院で研究する。
 - ② 学内外の各種講座で学ぶ。
 - ③ 各種研究会に入会して学ぶ。
 - ④ 各種イベントに参加して学ぶ。
2. 他部署に異動になっても、常に図書館を思い浮かべる。復帰したらその経験を生かす。

8. 分かって欲しいこと
(3) それぞれの図書館員マインド

私の図書館員マインドとは

「図書館員は教育職の一種である。」

1. それでは、あなたの図書館員マインドは何でしょう？
 2. ポストイットに書いてホワイトボードに自分が最初に書いたポストイットに貼ってください。(たとえ同じでも)1分以内で貼る。
- * そのマインドを忘れないことが大切です。